



奄美医療生協NEWS

お元気ですか

発行者
奄美医療生活協同組合
鹿児島県奄美市名瀬長浜町8-7
電話0997-52-0585
FAX 0997-52-8881

2025年6月25日(水)ア
マホームPLAZAにて第48期
通常総代会が、本人出席93名、
書面議決27名の総数120名の総代
参加で開催されました。福岡雅
彦理事長より開会挨拶と総代会
成立の宣言が行われました。開
会挨拶では、全国の医療・介護



第48期通常総代会開催 の危機を乗り越えよう

- 2面
・組合員活動紹介
- 3面
・第48期通常総代会写真集
- 4面
・原水禁 2025年世界大会案内
・国民平和大行進 in 奄美
- 5面
・7月号訂正記事
・班活動案内
・組合員企画の案内
- 6面
・辺野古支援・連帯行動報告
・ゆいちゃんがい

の情勢と当法人の経営課題及び
対応の経過について話されまし
た。
議案審議では、祐名新太郎専
務理事より、1号議案「202
4年度活動報告・事業報告・決
算報告及び欠損金処分案の承認
の件」2号議案「2025年度
活動計画・事業計画・予算承認
の件」3号議案「2025年度
役員報酬決定及び役員退任慰労
金支給承認の件」4号議案「議
案決議効力発生」の件」につい
ての4つの議案提案が行われまし
た。
提案と説明については、スラ
イドを使い、地区別総代会で出
された質問、要望について項目
ごとに理事会からの回答を含
め、丁寧な説明が行われまし
た。
議案審議の中で、総代4名、

の情勢と当法人の経営課題及び
対応の経過について話されまし
た。
議案審議では、祐名新太郎専
務理事より、1号議案「202
4年度活動報告・事業報告・決
算報告及び欠損金処分案の承認
の件」2号議案「2025年度
活動計画・事業計画・予算承認
の件」3号議案「2025年度
役員報酬決定及び役員退任慰労
金支給承認の件」4号議案「議
案決議効力発生」の件」につい
ての4つの議案提案が行われまし
た。
提案と説明については、スラ
イドを使い、地区別総代会で出
された質問、要望について項目
ごとに理事会からの回答を含
め、丁寧な説明が行われまし
た。
議案審議の中で、総代4名、

20周年の取り組みと支部活動の
紹介」、◆「徳之島診療所新築
移転についてと特別増資運動の
取り組み」、◆「南大島区生協
まつりと主管支部としての取り
組みについて」◆「徳之島診療
所の歴史と教訓、困難を協同の
力で乗り越えよう」、◆3号議
案について、「今日の情勢を踏
まえ役員報酬の再検討につい
て」でした。
今回の、通常総代会では、全
国の医療福祉生協を含め、当法
人における「組合員参加の危
機」、「事業継続の危機」を組合
員と職員の「参加」と「協同」
の力で乗り越えよう、が中心課
題です。それを踏まえ、積極的
な発言が出されたのが特徴的
でした。議案提案の中で紹介され
た地区別総代会での意見、要望

20周年の取り組みと支部活動の
紹介」、◆「徳之島診療所新築
移転についてと特別増資運動の
取り組み」、◆「南大島区生協
まつりと主管支部としての取り
組みについて」◆「徳之島診療
所の歴史と教訓、困難を協同の
力で乗り越えよう」、◆3号議
案について、「今日の情勢を踏
まえ役員報酬の再検討につい
て」でした。
今回の、通常総代会では、全
国の医療福祉生協を含め、当法
人における「組合員参加の危
機」、「事業継続の危機」を組合
員と職員の「参加」と「協同」
の力で乗り越えよう、が中心課
題です。それを踏まえ、積極的
な発言が出されたのが特徴的
でした。議案提案の中で紹介され
た地区別総代会での意見、要望



地域理事2
名より発言
がありました。
発言は、
◆5年ぶり
に屋外での
開催となっ
た「北大島
区生協まつり」、◆
「支部結成
20周年の取り組みと支部活動の
紹介」、◆「徳之島診療所新築
移転についてと特別増資運動の
取り組み」、◆「南大島区生協
まつりと主管支部としての取り
組みについて」◆「徳之島診療
所の歴史と教訓、困難を協同の
力で乗り越えよう」、◆3号議
案について、「今日の情勢を踏
まえ役員報酬の再検討につい
て」でした。
今回の、通常総代会では、全
国の医療福祉生協を含め、当法
人における「組合員参加の危
機」、「事業継続の危機」を組合
員と職員の「参加」と「協同」
の力で乗り越えよう、が中心課
題です。それを踏まえ、積極的
な発言が出されたのが特徴的
でした。議案提案の中で紹介され
た地区別総代会での意見、要望

地域理事2
名より発言
がありました。
発言は、
◆5年ぶり
に屋外での
開催となっ
た「北大島
区生協まつり」、◆
「支部結成
20周年の取り組みと支部活動の
紹介」、◆「徳之島診療所新築
移転についてと特別増資運動の
取り組み」、◆「南大島区生協
まつりと主管支部としての取り
組みについて」◆「徳之島診療
所の歴史と教訓、困難を協同の
力で乗り越えよう」、◆3号議
案について、「今日の情勢を踏
まえ役員報酬の再検討につい
て」でした。
今回の、通常総代会では、全
国の医療福祉生協を含め、当法
人における「組合員参加の危
機」、「事業継続の危機」を組合
員と職員の「参加」と「協同」
の力で乗り越えよう、が中心課
題です。それを踏まえ、積極的
な発言が出されたのが特徴的
でした。議案提案の中で紹介され
た地区別総代会での意見、要望

地域理事2
名より発言
がありました。
発言は、
◆5年ぶり
に屋外での
開催となっ
た「北大島
区生協まつり」、◆
「支部結成
20周年の取り組みと支部活動の
紹介」、◆「徳之島診療所新築
移転についてと特別増資運動の
取り組み」、◆「南大島区生協
まつりと主管支部としての取り
組みについて」◆「徳之島診療
所の歴史と教訓、困難を協同の
力で乗り越えよう」、◆3号議
案について、「今日の情勢を踏
まえ役員報酬の再検討につい
て」でした。
今回の、通常総代会では、全
国の医療福祉生協を含め、当法
人における「組合員参加の危
機」、「事業継続の危機」を組合
員と職員の「参加」と「協同」
の力で乗り越えよう、が中心課
題です。それを踏まえ、積極的
な発言が出されたのが特徴的
でした。議案提案の中で紹介され
た地区別総代会での意見、要望



大和 吉田 総代
伊仙 富 総代
徳南 亀沢 理事
山郷 盛 理事
笠利 山口 総代
四谷 米山 総代

最終後、各種表彰が行われ、
事業所では、徳之島診療所「建
設委員会」も表彰され受賞後の
挨拶で徳田所長は、「新しい徳
之島診療所の活動は始まった
が、我々の目指す目標にはまだ
道半ばです。達成に向け努力し
ていきます」と話されました。
組合員と職員の「参加」と
「協同」の力で奄美医療生協を
大きく前進させましょう。

最終後、各種表彰が行われ、
事業所では、徳之島診療所「建
設委員会」も表彰され受賞後の
挨拶で徳田所長は、「新しい徳
之島診療所の活動は始まった
が、我々の目指す目標にはまだ
道半ばです。達成に向け努力し
ていきます」と話されました。
組合員と職員の「参加」と
「協同」の力で奄美医療生協を
大きく前進させましょう。

最終後、各種表彰が行われ、
事業所では、徳之島診療所「建
設委員会」も表彰され受賞後の
挨拶で徳田所長は、「新しい徳
之島診療所の活動は始まった
が、我々の目指す目標にはまだ
道半ばです。達成に向け努力し
ていきます」と話されました。
組合員と職員の「参加」と
「協同」の力で奄美医療生協を
大きく前進させましょう。

北大島区 上方支部

地域の健康づくりに
まちかど健康チェック実施



6月13日(金) 上方支部では、浦上郵便局に隣接する組合員さんの家の敷地を借りてまちかど健康チェックを行いました。

当日は、支部の組合員さん2名も参加し、血管年齢・血圧・握力の測定を行いました。初夏の良い天気にも恵まれた分、暑くなりましたが、隣の郵便局で野菜の販売も行っていたこともあり、多くの方でにぎわい、20名の方々が受検しました。測定結果に、「血管年齢が実際よりも若くてよかった。」「いつも血圧が高くて・・・」などと感想も聞かれ、和やかに取り組むことができました。

前回、強風で十分な対応が出来

なかったまちかど健康チェックでしたが、今回は楽しく自分の体をチェックする事ができ、奄美医療生協の組合員活動を地域に「みせる化」にもつながる良い機会となりました。

これからも、皆さんの地域で健康チェックをしていきたいと思えます。

地域支援部 安江 潤

南大島区 阿木名医療講話

足の健康 大事だよ
靴の履き方・選び方



6月30日(月) 午後、阿木名公民館にて「医療講話」を組合員15名、職員6名の参加で開催しました。

30℃を超える暑い中での開催でしたが、健康チェックへ13名の方が受検して頂きました。測定結果には一喜一憂の声が聞かれました。医療講話は、フットヘル

徳之島以南区 伊仙支部

上晴さわやか班
健康づくりも 交通安全も

5月22日(木)、伊仙支部の上晴さわやか班で班会を開催しました。

健康チェック、ラジオ体操のあと徳之島警察署から交通安全についてのお話がありました。運転する時には、体調管理、シートベルト



パーでもある福真理子氏による「靴の履き方・選び方」についての話しでした。靴という身近な物の選び方、履き方について分かりやすく丁寧に講話して頂きました。講演の後半には、簡単な

足指の運動も体験して頂き、参加者はとても楽しく和やかに運動に挑戦していました。参加者からは、「とても良い企画でした。」と大変好評でした。

地域支援部 嘉野 善一郎

トの確認。速度に気を付けること。歩くときには歩く時間や服装、斜め横断をしないことなどお話がありました。

組合員さんの中には、ウォーキングやジョギング等で、健康づくりに取り組んでいる方も多くいます。暑いこの季節は、朝夕の涼しい時間に行うことが多いと思われれます。薄明りの中ではドライ



バーが気付きやすい服装が大事です。昨年、徳之島では4件の交通事故発生しており、気を付けたいと思います。

4月は、班会ができませんでした。

地域支援部 伊 加代子



第48期 総代会 写真集



平和をつくる

昨年、ノーベル平和賞が日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）に授与されました。核兵器の非人道性を訴え、世界の原水爆禁止運動に新たな勢いを与えています。世界では、核兵器のない未来を求める世論もさらに大きく広がっています。2021年1月に発効した核兵器禁止条約（TPNW）は批准国が73、署名国が94に、昨秋の国連総会で条約を支持した国は127か国となり広がってきていますが、唯一の被爆国である日本は批准していません。世界と連携し平和の大きなうねりをおこしましょう。



2025年原水爆禁止世界大会

毎年、原爆投下の日に合わせて世界大会が開催されます。大会参加へ向け、バザー、カンパ等の活動が取り組まれ、平和学習も行われます。国民平和行進もこの大会と連携しています。奄美医療生協も、労働組合を中心に大会参加に取り組んでいます。

私達の取り組み

「日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准を求める署名」民医連目標 100万筆に対して到達 269,861筆 (2025.4現在)

スタンディングアピール行動

(8月) 19日(火)、(9月) 19日(金)、(10月) 9日(木)

国民平和行進

1958年6月、被爆地広島市の平和公園から東京に向けた行進として始まりました。「歩く」という誰でもできる行動で原水爆禁止の願いを示す平和行進は、沿道の市民の共感をひろげ、数十万人が行進に加わりました。それ以来56年間、雨の日も風の日も、夏の暑さの中も休まず続けられるこの行動は、世界にも類をみません。いまでは全都道府県の8割をこえる自治体を通り、毎年約10万人が参加しています。

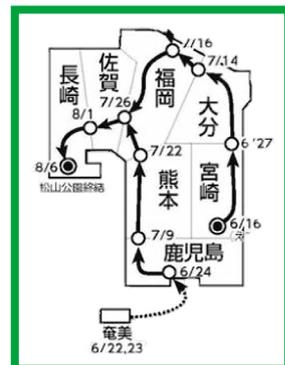
「核兵器のない世界」を願う人なら、誰でも参加できます。 (日本原水協 パンフから)

国民平和行進 in 奄美 (6月22日~23日)



6月22日奄美地区平和行進 笠利・龍郷コースが29名の参加でスタートしました。

出発集会では、民医連奄美事務所：盛山さん、平和委員会：平元さん、新婦人：江崎さん、奄美医療生協笠利支部：泉さんが代表あいさつを行い元気に出発しました。



23日に行われた自治体要請は、奄美市、大和村、宇検村、へ核兵器禁止条約への署名、批准を国に訴えるように要請しました。夕方行われた集結集会には49名が参加し、6団体（新婦人、民医連奄美事務所、奄美民商、医療生協労組、日本共産党奄美地区委員会、奄美平和委員会）から決意表明がありました。最後に市内をパレードし核兵器廃絶、原発をなくそう、憲法9条を守ろう等訴えました。2日間の行進参加者は述べ104名でした。

職員募集

勤務地：①ひまわり保育園、②③奄美中央病院

- ① 保育助手：アルバイト（8:00 から 2 時間以上お手伝い頂ける方、本人希望日の勤務）
- ② 臨床検査技師、臨床工学技士、看護師、介護福祉士
：正規職員またはパート（一日・半日若しくは本人の希望時間）
- ③ 情報処理（事務）：パート（一日・半日若しくは本人の希望時間）



7月号 No.235 の記事に訂正がありましたのでご確認下さい。

徳之島診療所診療案内・生協在宅サービスセンター・生協ヘルパーステーション

徳之島診療所・デイケアにじ ☎ 0997-83-2131 休診日：日曜、月曜・水曜・土曜の午後

			月	火	水	木	金	土
午前診療	受付 8:00 ~ 12:00	一般外来	○	○	○	○	○	○
	診療 8:45 ~ 12:30	専門外来	—	—	①週 小児科 ④週 消化器	—	②週 循環器 ③週 呼吸器	③週 呼吸器
訪問診療	14:00 ~ 17:00		○	—	○	—	—	—
午後診療	受付 18:00 まで 診療 17:00 ~	一般外来	午後休診	17:00 ~ ○	午後休診	17:00 ~ ○	17:00 ~ ○	午後休診
	受付 18:00 まで 診療 14:00 ~	専門外来	—	①週 小児科 ④週 消化器	—	①③週 糖尿病外来	②週 循環器 ③週 呼吸器	
小児科予防接種 (受付は 17:30 まで)	午前		○	○	○	○	○	—
	午後		—	お問い合わせ ください	—	お問い合わせ ください	お問い合わせ ください	—

生協在宅サービスセンター
 営業時間：平日 8:30 ~ 17:00（土曜日は 12:30）
 奄美中央病院：☎ 0997-54-4443
 とくのしま：☎ 0997-81-2755
 介護に関するご相談にケアマネージャーがお受けします。

生協ヘルパーステーション
 営業時間：平日 8:30 ~ 17:00（土曜日は 12:30）
 あまみ：☎ 0997-57-7373
 せとうち：☎ 0997-72-3567

■午後診療は、火曜日、木曜日、金曜日の 17:00 ~。■日曜日の終日、月曜日、水曜日、土曜日の午後は休診です。

組合員企画のご案内

◆保健学校開催（北大島区・南大島区・徳之島以南区）

3区共通（8月23日《土》開催） 各区開催時間オプション企画についてはお問い合わせください。

健康チェック（血圧測定、尿検査・塩分チェック等）実技、検査で分かることを指導します。

講義：生活習慣と健康指標、すこしお（減塩）

申し込み締め切り：8月20日（水） テキスト代：1,000円（持っている方 500円）

北大島区 お問い合わせ 52-6565（田川・福永） 52-5750（石井、福田、中田、安江）

南大島区 お問い合わせ 72-0107（嘉野） 徳之島以南区 お問い合わせ 83-2131（伊）

◆夏休み応援企画（学習支援 + どうしゅわ食堂 + 奄美手熟師会）

日時 8月10日（日）10時から 場所 生協会館（長浜町8-7）

対象 奄美在住の小・中学生

▶ 学習支援（夏休み宿題のお手伝いをします。ご持参ください。）10:00 から

▶ どうしゅわ食堂（奄美中央病院子ども食堂）を開催します。

12:00 から提供 数に限りあり。整理券を配布します。

▶ 奄美手熟師会：達人たちが伝承遊び、絵、物づくりを教えます。

13:30 ~ 15:30

※ 詳細はポスター（奄美市の小・中学校）、奄美中央病院、地域支援部Instagram、支部運営委員会配布チラシをご参照ください。 お問い合わせ 52-5750（地域支援部）



ゆいちゃんがいく No.60 Toshi

辺野古支援・連帯行動に参加して



九州・沖縄地方協議会の第6回行動(2025年6月)に参加しました。梅雨明けした沖縄地方は3日間お天気に恵まれ、行動は全て予定通りに進み、少しだけ、『沖縄のたたかい』のお手伝いをして来ました。

感想は書き切れませんが、沖縄慰霊の日の2日前に訪れた、平和祈念公園について書きます。熱中症警戒アラートが発令中・猛烈な暑さの中でしたが、『平和の礎』に花を手向けたり手を合わせたりする方も多く、公園全体に“とても静かで穏やかな時間”が流れているように感じました。

普段から、特に『たたかい』のない毎日を過ごしていると、どこか、『戦争は対岸の火事・他人事』と考えてしまいがちです。しかし、時に、あの『毎日戦っている人達』や、『戦禍の上に築き上げられている平和』のことを思い出し、“それらの人達の気持ちに寄り添って、今後、行動して行きたい”と改めて思いました。

地域支援部 石井 仁久



未来の子どもたちに残そう 美ら海を基地はいらん!



米軍普天間飛行場は、人口密集地域のど真ん中に位置しています。世界一危険な飛行場とも言われています。学校や病院その他公的機関、そして多くの民家が空港を取り囲むように周辺に広がっており、近隣住民は日常的な騒音や航空機事故の危険性と隣り合わせの生活を強いられています。2004年8月には、普天間飛行場に隣接する沖縄国際大学構内にヘリコプターが墜落する事故が発生しました。政府は、名護市辺野古崎地区及びこれに隣接する水域を埋め立てて普天間飛行場の代替施設を建設することを計画しています。

豊かな自然環境を有する海を埋め立て、現在の普天間飛行場にはない機能を備える移設計画について、沖縄県民の理解は得られていません。

(沖縄県ホームページより)

尊厳を踏みにじる発言

2025年は戦後80年の節目となります。過去の戦争を繰り返してはならないと誰もが誓ったこの年に、残念な発言が国会議員から発せられた。自民党の西田参議院議員が、5月3日の憲法記念日の講演で、「ひめゆりの塔」の展示内容を「歴史の書き換え」などと発言した。

沖縄には日本にある米軍基地の70%が存在している。米軍が関係する事件も頻りに発生している。いまだ戦争の犠牲にたつ沖縄県民の尊厳を踏みにじる西田氏の発言はゆるせない!



本当は撤回したくないけど、

歴史をねじまげてはならない 沖縄住民が日本軍の犠牲に

米軍の無差別爆撃による犠牲のほか、日本軍による住民の殺害が各地で発生した。沖縄住民をスパイ視して拷問や虐殺をしたり、壕追い出しや、米軍に探知されないために乳幼児の殺害などをおこなった。その他、住民の食糧の強奪や、足手まといを理由に、死を強要した。住民は逃げ場を失い多くの者が犠牲となった。

ひめゆり学徒隊に解散命令。突然下されたこの命令により、戦場に放り出された多くの犠牲がでたんじや。



日本軍に見捨てられた...

戦争は人を狂わす 信じがたい理由で住民虐殺

奄美もそうだと思うが、テレビもない時代、その頃の住民の殆どが方言でしか話せなかったはずだ。軍民雑居の戦場となった沖縄の日本軍は、住民から軍の機密が漏れるのを極度に恐れた。「沖縄語ヲ以テ談話シアル者ハ間諜トみなシ処分ス」という命令も出されていた。米軍の投降勧告ビラを持つ民とみなされて、日本軍に虐殺された。

沖縄戦で亡くなった住民は約、9万4千人、日本軍も9万4千人、米軍は1万2千人、日本軍と同じ数の民間人が犠牲に



戦後80年、繰り返してはならない戦争! 声を上げるのは今だ!

繰り返してはならない戦争だが、今世界は日本も含め、戦争の危機が迫っている。人類は、戦争から何を学んだのか。「平和は力では保たれない。平和はただ理解し合うことによるのみ達成されるのだ」(アインシュタイン) 理解し合える社会へ、声を上げるのは今だ。

私たちのめざす活動は、「世の中が平和で暮らしやすい」ということが前提にあります。「戦争政策がすすむ国づくり」のなかでは、豊かな暮らし、健康づくり、まちづくりはできません。



平和の声を上げよう

参考:沖縄県ホームページ、ひめゆり平和祈念資料館

朝日新聞デジタル